

## 4. 現地調査・データ整理

# 4. 現地調査・データ整理

## ゾーニング事業において実施した調査・現地調査(既存インフラ施設)

- 既存の資料等から把握が困難であった情報の中で、ゾーニングマップの作成や環境配慮方針を検討するために必要な項目について、現地調査を実施しました。
- 既存インフラ施設の調査は、島内の再エネ導入実績やエネルギー需要の高い施設の立地状況を現地にて確認しました。

No.	項目	概要	調査方法
1	動物・植物	文献調査 和泊町(沖永良部)における重要種の生息・生育情報の把握	文献等の収集・整理
		鳥類調査 ため池における鳥類の利用状況把握(学識者ヒアリングにおける助言)	現地調査 【越冬期・繁殖期・秋季渡り期】 (主要ため池箇所)
2	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観 太陽光・風力発電施設導入による景観影響の把握	現地調査
3	既存インフラ施設	電力系統、既存再エネ設備の稼働状況 自治体管理太陽光発電施設及び風力発電施設の稼働状況を確認	データ整理 現地調査
		ため池に関する構造調査 自治体所有のため池の分布及び水上型太陽光導入を目的とした構造確認	データ整理 現地調査
4	エネルギー需要の高い施設への立地調査	電力需要施設(官民施設)の施設分布、施設周辺の土地利用状況を確認	データ整理 現地調査
5	再エネ導入候補地における立地環境調査	導入候補地における土地利用状況の把握を目的とした現地及びUAV調査	現地調査 (UAV空撮)



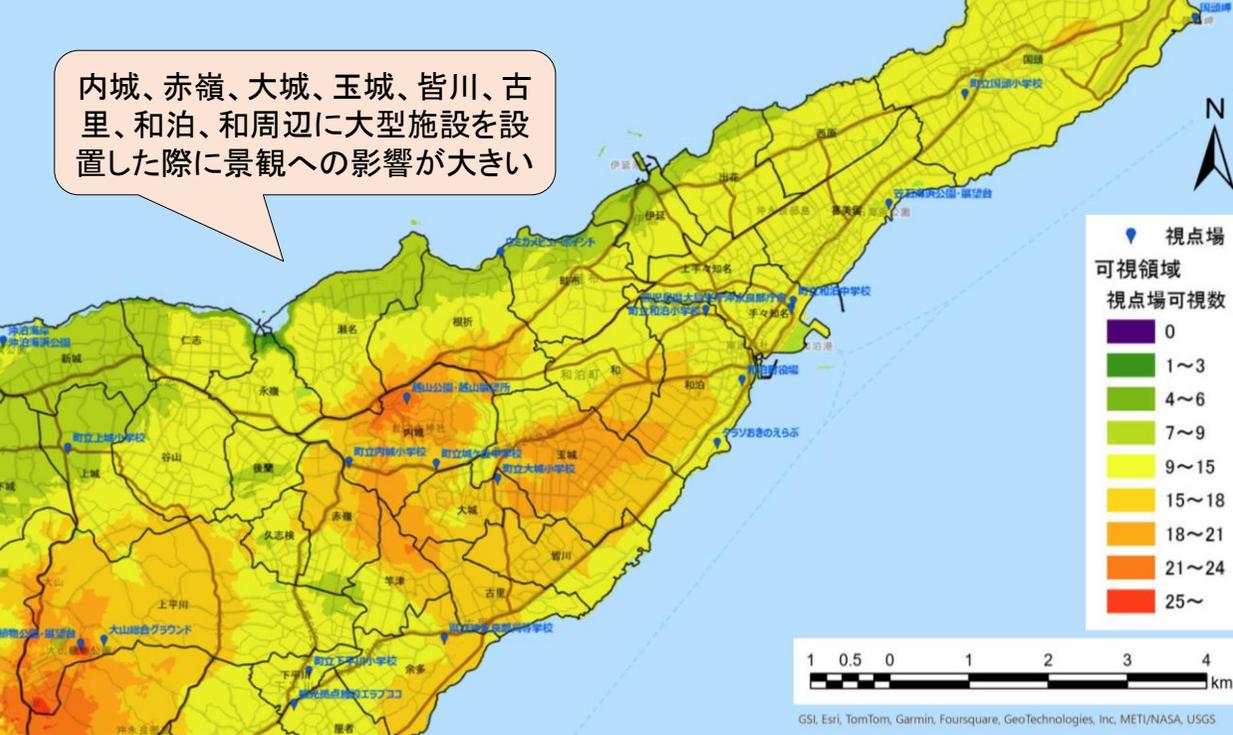
# 4. 現地調査・データ整理

## 景観調査結果

- 再生可能エネルギー施設が既存の景観資源への影響度を把握するため、主要な視点場となる地点からの眺望状況を調査しました。
- 沖永良部島は、他の地域と比べて平坦な地形となっており、大型構造物(風力発電施設等)をどの場所に設置した場合でも、主要な視点場から風車が視認できる結果となります。
- **風力発電施設等の大型構造物を設置する際は、景観への配慮が必要になります。**



### 視点場可視領域図(1MW風車想定)



眺望状況の写真1 眺望方位 : N10W~S60E



# 4. 現地調査・データ整理

## 動植物(文献調査・ため池における鳥類調査)

- 行政等が所有する資料には、自然環境に関する情報が不足していたため、沖永良部島に関する論文や書籍等を収集し、沖永良部島の動植物の生息・生育情報を整理しました。
- また、将来的な水上型太陽光発電の導入構想があり、ため池における鳥類の利用実態調査を行いました。

### 文献調査結果

#### ●動物

【重要種197種の内、法令指定種 20種】

#### A.文化財保護法

##### 【鳥類】

- ・カラスバト(天然記念物(国))
- ・アカヒゲ(天然記念物(国)) <Bの(国内)該当>

##### 【その他】

- ・サキシマヌマエビ(天然記念物(県)) <C該当>
- ・オカヤドカリ(天然記念物(国))

#### B.絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律

##### 【哺乳類】

- ・オリコキクガシラコウモリ(国内) ・リュウキュウユビナゴウモリ(国内)

##### 【鳥類】

- ・クロツラヘラサギ(国内) ・マナヅル(国際) ・メダイチドリ(国際)
- ・アマミヤマシギ(国内) ・ホウロクシギ(国際) ・ハヤブサ(国内) ・アカモズ(国内)

##### 【爬虫類】

- ・アカウミガメ(国際)

##### 【昆虫類】

- ・フチトリゲンゴロウ(国内) ・ヒメフチトリゲンゴロウ(国内)
- ・オキナワスジゲンゴロウ(国内)

##### 【その他】

- ・オオシマキセルガイモドキ(国内)

#### C.鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例

##### 【爬虫類】

- ・オキナワトカゲ

##### 【魚類】

- ・キバラヨシノボリ



#### ●植物

【重要種510種の内、法令指定種 4種】

#### A.文化財保護法

該当なし

#### B.絶滅のおそれのある

野生動植物の種の保存に関する法律

- ・ウスイロホウビシダ(国内)
- ・コモチナナバケシダ(国内)

#### C.鹿児島県希少野生動植物

の保護に関する条例

- ・オナガエビネ
- ・デンノウメ



出典)鹿児島県

### 鳥類調査結果

調査時期:越冬期(R6.1-2月)、繁殖期(R6.6月)、秋渡り期(R6.9)

確認種数:13目31科66種

重要種:8目13科17種

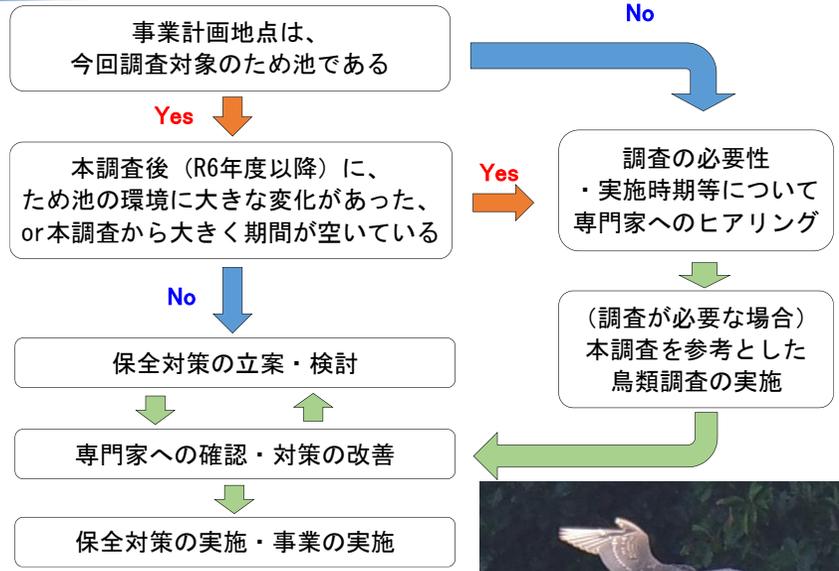


- 調査対象のため池(9箇所)
- ①松の前池(和泊町後蘭)
  - ②永嶺前池(和泊町永嶺)
  - ③阿賀礼池(和泊町瀬名)
  - ④和地区調整池(和泊町根折)
  - ⑤第二坊ヤ田池(和泊町西原)
  - ⑥汐海調整池(和泊町国頭)
  - ⑦耳付池(和泊町国頭)
  - ⑧長畠1号池(和泊町国頭)
  - ⑨第二長畠池(和泊町国頭)

# 4. 現地調査・データ整理

## 動植物(ため池における鳥類調査)

- 和泊町には自然にできた湛水環境が少ないことから、人工的なため池が、夏鳥の繁殖場所、旅鳥の中継地、冬鳥の越冬場所として利用されている可能性があることがわかりました。
- 今回調査を行ったため池では、**重要種の繁殖確認はなく**、再エネの開発対象から除外するものはないと考えております。
- ただし、一般種の確認種数が最も多く、他のため池では確認がない種を複数確認した**松の前池**は、環境に配慮された工法によって多様な環境が創出されており、**保全エリアとして設定することとしました**。
- その他のため池については、**再生可能エネルギー(太陽光発電)の導入を検討する際**、右記の**フローに倣い**、**調査・環境保全対策の検討・実施が望ましい**です。



地点	確認種数	利用状況(種数) <sup>※1</sup>				利用箇所(種数) <sup>※1</sup>			確認個体数 <sup>※2</sup>									
		休憩	採餌	繁殖	合計	湖面	汀線	合計	1/30	1/31	2/1	6/3	6/4	6/5	9/24	9/25	9/26	合計
1 松の前池 (和泊町)	9目16科28種	15	6	2	23	6	5	11	-	17	14	-	27	33	-	27	19	137
2 永嶺前池 (和泊町)	7目13科20種	4	9	0	13	5	4	9	-	16	13	-	10	3	-	45	28	115
3 阿賀礼池 (和泊町)	9目14科16種	7	5	0	12	5	5	10	-	41	35	-	14	5	-	8	11	114
4 和地区調整池 (和泊町)	7目 8科13種	4	4	0	8	5	0	5	-	36	33	-	7	9	-	5	5	95
5 第二坊や田池 (和泊町)	9目12科20種	12	8	0	20	10	8	18	77	52	-	58	12	-	16	23	-	238
6 汐海調整池 (和泊町)	10目17科23種	18	11	1	30	11	6	17	30	31	-	11	19	-	26	10	-	127
7 耳付池 (和泊町)	9目16科23種	8	17	0	25	11	10	21	44	36	-	14	9	-	17	20	-	140
8 長島1号池 (和泊町)	8目14科19種	8	8	1	17	8	4	12	-	21	19	7	13	-	8	6	-	74
9 第二長島池 (和泊町)	8目13科19種	10	12	0	22	9	7	16	-	50	47	8	3	-	14	12	-	134



※1: [ ] は各項目の上位2地点を示す。 ※2: 種数の合計は延べ数である。 ※3: 「-」は定点調査・任意観察の実施なしを示す。  
 松の前池のみで確認された種: カモ目カモ科マガモ、ペリカン目サギ科ササゴイ、ペリカン目サギ科アカガシラサギ、ペリカン目サギ科チュウサギ(重要種)  
 ツル目ツル科シロハラクイナ、チドリ目レンカク科レンカク、スズメ目ツバメ科コシアカツバメ、スズメ目ヒタキ科シロハラ

松の前池のみで確認された種の一部